



2022 年度
第 23 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
新型コロナウイルス
感染症時代の
契約職体育人として
生きていくということ



체육시민연대
집행위원 칼럼

2
「居酒屋暴行」
ハンファ三男、
規定を破り
体育団体長当選



3
高校体育の
授業縮小…
ふつつつ腹をたてる
体育教師たち



4
答えは現場に！
スマート競技
体育教師たちが提言した
学校体育の未来



5
少年体育会の期間中、
女子職員を
強制わいせつした
済州島体育会幹部立件

6
「黒い霧事件」記憶、
日本体育界…
スポーツ賭博導入はダメ

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



01 體育市民連帶執行委員コラム

新型コロナウイルス感染症時代の契約職体育人として生きていくということ

ソン・ミンギ體育市民連帶執行委員/夢見るヌリムボ(訳注: のんびり屋、のろま)社会的協同組合



2019 年 12 月、中国湖北省武漢市で初めて確認された新型コロナウイルス感染症(以下 COVID-19)で 2020 年 1 月に世界保健機関非常事態を宣言し、さらに 3 月にはパンデミック、すなわち世界的な汎流行に格上げされ、現在も終わ

っていない。このニュースをマスコミで初めて接した時、このウイルスが筆者の人生に多大な影響を与え
るとは予想できなかった。

私はフリーランサー特殊体育講師として 12 年間学校特殊体育放課後授業を障害学生たちに指導してきた。学校との契約は通常 3 月末から 12 月末までだったので、新学期が始まる前に特殊教師と放課後授業のための協議をしたが、2020 年 1 学期の授業は COVID-19 で授業進行が難しいということを電話で通知された。この電話一本で私は仕事を失ったのだった。何の措置もなしにただ電話一本でだ。家族にとっても申し訳なかったが、一学期だけ持ちこたえようという考えでは授業に被害を与えるのではないかと懸念され、他の仕事も探していなかったが、COVID-19 が長期化し、放課後授業を進められなくなった。だからといって学校では契約職であることで、いかなる補償も期待できなかった。今まで仕事を休んだ経験がなかったので、さらに不安な気持ちになり、初めて契約職体育講師ということを嘆かわしく思った。

このような状況に置かれた体育人は、単に私だけでなく非障害学生を指導する契約職放課後体育種目を指導する講師、学校体育活動を補助するスポーツ講師、幼稚園や保育園で身体遊びプログラムを進行する幼児体育講師、そして成人の健康な生活のために運動を指導するフィットネス従事者、療養保護院で高齢者の身体活動を指導する高齢者身体活動講師など多くの方が私のような状況に置かれていた。これ以上生計に脅威を感じた方々は耐えられず他の職業群に転職し、フィットネスセンターを運営する方々は廃業または信用不良者になったり極端な選択(訳注: 自殺のこと)をする方もいらっしやった。

私は 1 年が過ぎた後、これ以上はできないと考えて新しい働き口を探し始めた。最初は体育関連の仕事以外に他のことをしようかと悩んだが、専攻分野でコロナ禍でできることを探し始めた。K 児童発達センター特殊体育講師、D グループで進行する非対面障害者生活体育プログラム、G 区障害家族支援センターの体育放課後講師、S 市保健所障害高齢者非対面身体活動、K 社会的企業の非対面特殊体育資格講師など多様な活動をしながら COVID-19 時代でも持続できる活動を始め、現在は社会的企業働き口創出事業の一環として進行される専門人材として採用され、K 社会的協同組合で障害学生体育授業を行っている。

私は学部を卒業して最初から契約職職員となっただけではなかったが、体育関連正規職の体育関連職種で特定職業以外は思い出せなかった。正規職があるとしても年俸が 2400 万ウォンにならないところが数え切れないほどあり、2022 年の今も年俸上昇率が大きくない。2015 年の資格制度改編により専門スポーツ指導士 1~2 級、生活スポーツ指導士 1~2 級、健康運動管理士、障害者スポーツ指導士 1~2 級、幼少年スポーツ指導士、老人スポーツ指導士など 6 種 9 級の体系で養成されているが、国家資格証を持っていても依然として正規職就職の場を探すことが容易ではない。代表的な非正規職としては健康運動管理士、学校

運動部指導者、学校スポーツ講師などがおり、それさえも 2020 年から生活スポーツ指導者と障害者生活スポーツ指導者が正規職に変わっている傾向だが、無期契約職であるため 1 年目も 10 年目も年俸は大きく変化がない。先輩体育人たちが安定的に働ける制度と環境を作る不断の努力が、今後の後輩体育人養成にも意味のある影響を及ぼすと思う。

2022. 06. 09

02 KBS NEWS 2022. 06. 10

「居酒屋暴行」ハンファ三男、規定を破り体育団体長当選



金ドンソン氏は 2006 年から乗馬の国家代表でした。
アジア大会だけで金メダル 3 個を取りました。

[金ドンソン/ハンファグループ会長三男/2014 年 1 月の言葉:「世界的な選手たちと一度戦えるということにとっても緊張している」]
昨年は韓国学生乗馬協会会長選挙にも出馬しました。

小・中・高・大学の選手を育成し、支援する場所です。

代議員投票で当選した金氏は、上級団体である大韓乗馬協会の承認を経て就任しました。

しかし、規定通りなら可能なことではありませんでした。

大韓乗馬協会の定款は役員欠格事由の一つとして「社会的物議」をかもした場合を明示しています。

金ドンソン氏は 2017 年に泥酔状態で酒場従業員を殴り懲役 8 ヶ月に執行猶予 2 年を宣告され、この執行猶予期間にも弁護士に暴行したことがあります。

[金ドンソン/ハンファグループ会長三男/2017 年 1 月の言葉:「その罪によりいかなる罰も甘んじて受けるようにします。」]

体育団体の相当数が「社会的物議をかもした人を役員に座らせません。

いわゆる「殴り代暴行」を犯した M&M のチェ・チョルウォン代表がアイスホッケー協会長になろうとしたが失敗に終わった理由でもあります。

乗馬協会は承認手続きを進行した当時、新しく就任した協会長が規定をよく知らなくて起きたことだとし、今からでも正すと明らかにしました。

[朴ナムシン/大韓乗馬協会会長の言葉:「(規定を)知っていたら承認しなかったのに…」 私も悩みましたが、承認取り消しをしようと思っています。」]

金ドンソン氏側は、乗馬人として後輩養成に力を入れたくて無報酬名誉職を引き受けようとしたとし、欠格事由に該当するかどうかは今後争うという立場を伝えてきました。

2020 年 12 月にハンファグループに復帰した金氏はギャラリーア常务に続き、3 月にはハンファホテルアンドリゾート役員にも上がりました。

KBS ニュースのキム・ウジュンです。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5483288&ref=A>

高校体育の授業縮小…ふつつ腹をたてる体育教師たち



最近、高校体育教師がふつつ沸騰している。体育授業が大きく萎縮する危機を迎えたからだ。

現在、全国高校は教育課程編制表を修正している。高校3年間履修しなければならない単位を204単位(単位)から192単位(単位)に減らす

作業だ。ここで「単位」とは、高校3年間勉強しなければならない授業時間を意味する。192単位を科目別に分けた後、それを学生が3年(6学期)の間学ぶ方式だ。

これまでの体育は12単位だった。12単位は学期当たり2単位ずつ分割された。1学期当たり2時間

(1週間)ずつ体育授業を行い、それが6学期なら12単位となる。最小単位は10単位だ。体育は1週間に2時間はしなければならないという主張が受け入れられ、12単位に維持された。一方、音楽と美術の授業はほとんど10単位で行われている。

総履修単位が204単位(学点)から192単位(学点)に縮小されると、特定の科目の授業時間が短くなるしかない。それをどの科目が監修するかがカギだ。結局、体育が犠牲の羊となっている。体育授業を12単位から10単位に減らす高校がますます増加している。体育教師たちが抵抗してもどうにもならない。教師の数が多数を占める国英数など大学入試科目教師たちを説得することも、押さえられないからだ。教師たちから良い評価を受けてこそ席を維持できる校長も数の多い教師側に挙げている。大学入試と昇進ロジックに学生の健康が無視される形だ。

体育授業が10単位に減れば、3年生は週1時間だけ体育をする。学期が16週で進むため、学期当たりの総体育授業は16時間だけだ。体育授業では、学生健康体力評価制度(PAPS)を義務づけなければならない。PAPSは5つの分野にわたって運動能力を評価する制度だ。イム・ソン Chol、ウンサン高校体育教師は「1時間練習して1時間評価すればPAPSをするのに10時間かかる」とし「残り6時間の体育授業を進めて評価までするのは無理」と話した。イム教師は「健康維持、ストレス解消、円満な交友関係維持などのために体育は絶対に必要だ」とし「週1時間の授業では効果が得られない」と付け加えた。

政府はスポーツを国民の権利であり国家の義務として規定する。ユン・ソクヨル政府も「国民スポーツ権」を唱え、関連政策を出している。ところが、高校生のスポーツ権は入試の論理によって黙殺されている。米国・ドイツ・フィンランド・日本など、ほとんどの先進国、世界の名門学校が時間が余って体育に比重を置いているのではない。体育が健康な体、心理的安定感、人と一緒に暮らすのに必要な道徳と義務を教えてくれるからだ。国英数ができない非常に重要な教育だ。韓国青少年自殺率は経済協力開発機構(OECD)国家の1位だ。過度の入試競争が主な原因だ。そこからしばらく脱出して息をつけるようにするのが体育授業だ。笑いながら授業を準備し、笑いながら授業を受けて、授業を受けた後も笑える授業は体育授業だけだ。学生たちの笑顔は体育授業がどれだけ必要かを過せずそのまま見せてくれる。

①体育は、年齢、性別、階層、障害、肌の色に関係なく、すべての学生に平等に行わなければならない教科だ。

②体育は追い込み式の授業が不可能である。定期的に着実にしなければ効果が得られない。

③学生は体育を通じて身体の健康を守るだけでなく、心理的・情緒的安定を維持し、円満な交友関係と共同体意識を学ぶ。

三つを否定する人はいない。入試科目教師、交感課校長、教育庁、教育部はまさにこれを知らないということなのか。

出典：https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202206120747003&sec_id=530101&pt=nv

04 スポーツ朝鮮 2022. 06. 12

「答えは現場に！」スマート競技体育教師たちが提言した学校体育の未来



「未来体育の授業は現場に答えがある。」

9日午後、京畿道龍仁京畿学生スポーツセンターでは現場体育教師たちが中心となった意味ある討論会「2022 未来学校体育教育オンライン1次フォーラム」が開かれた。

京畿道教育庁とウィピーク、健康な身体活動研究所が主催・主管した今回の討論会は京畿学生スポーツセンターユーチューブチャンネルを通じてリアルタイムで全国の体育教師たちに共有された。

京畿道教育庁のチョン・デジン学生健康科奨学士が進行を、健康な身体活動研究所のキム・スンファン所長が座長を務めた中で、イ・テグワクチン中学校教師が「未来体育授業の方向とスマートランニングを活用したデジログ体育授業」という主題で発題に出た。

イ教師は「経済協力開発機構(OECD)体育教育健康国際比較分析報告書」を根拠に「地球村体育教育の本質的特性」と「未来体育の授業方向」について発表した。イ教師は「京畿道教育庁は全国で初めてスマート体育教育支援条例を制定した。体育教育とスマート教育の融合を積極的に推進するという趣旨」と説明した後「地球村力量基盤体育教育過程で最初に指向するのが個人的、社会的技術とICTおよびデジタル読解力力量」と強調した。イ教師は米国アップル社が1985年から学校現場に導入した「次世代のためのアップル教室」を良い例として提示した。「アップル社は次世代のためのアップル教室を始め、スマート教育が学習動機誘発に大きな役割をするということを知り、インターネットとスマートデバイスが広く活用され、費用が安くなった2008年2回目の事業を本格的に始めた」と説明した。「教師研修を実施し、スマート機器を学校に提供、オンラインプラットフォームを通じて成果を共有させた」と紹介した。「初等学校教師と技術専門家が協業して生徒たち自ら課題を解決させ、教師は生徒やチームにオーダーメイド型フィードバックを提供した。最後の授業で学生たちが問題解決過程と結果を発表し、授業後学生たちは自ら運動を計画し実践する方法を知ることになった」と説明した。

イ教師はスマートデバイス活用時に教師が注意しなければならない事項も指摘した。「教師はメディアに対する批判的視線を持ち、技術機器を使う時と使わない時を区分しなければならない。技術に過度に依存した自分がよりスマートに教育したという考えに陥ってはならない」と強調した。成功的な「デジログ（訳注：造語、デジタルとアナログの融合）」体育授業実践のための「教師共同体の学習組織化」も提言した。「学習組織は教師力量の強化研修および教師研究会活動と関係されなければならない、教育庁は支援するものの干渉してはならない」とし、「先に話したアップル社の事例を参照すれば良いだろう」と話した。イ教師は「運動に近道がないように、未来体育の課題にも近道はない」とし、「『ゆっくり少しずつ着実に』が私たちの学校体育が進むべき道」と話した。

続く指定討論では、クォン・ギョンソプ浦谷初等学校教師(龍仁遊び体育研究会)、チェ・ウォンソプ華城中学校教師(京畿道ニュースポーツ研究会)、イ・ジェミョン^{ボンダム}鳳潭高校教師(授業デザイン研究会)、ハン・ジョンミン^{キサン}機山中学校教師(IoT 学校体育研究会)など、京畿学生スポーツセンターで自発的研究会を続けてきた体育教師4人とチェ・ヘインLGプロジェクト3チーム専任など、IoT産業現場の実務責任者が参加した。

蒲谷初等学校のクォン・ギョンソプ教師は未来体育教育の方向について「子供たちが家族と共に身体活動をする村教育共同体、生徒たちが直接作っていく夢の学校、身体活動量を増やし皆が楽しく参加する遊び体育」等、3つのテーマを提示した。特に「学生たちが共にする夢の学校」では学校でキンボール(訳注: Kin-Ball)を初めて学んだ後、コリアキンボール大会に参加して「キンボール国家代表」と会い「国家代表」を夢見るようになった子供たちの現場ストーリーを生々しく伝えた。

華城中学校のチェ・ウォンソプ教師は「生徒の健康増進のための未来学校」を提言し、「未来の学校体育で最も重要なのは、『動き(身体活動)』』と強調した。「指を動かすのではなく、身体を活用して動かすことが体育教育の根本」という点を繰り返し力説した。続けて「身体年齢に合う身体発達プログラム開発および運営すなわち『小・中・高連係授業の必要性』」を強調した。チェ教師は「サッカー授業の場合、小・中・高ともにパス、ドリブル、シュート後にゲームをする同じ方式だ。各身体年齢に合ったプログラムと連携性のある授業が続けられなければならない」と述べた。この他に「機関、スポーツ産業、学校の協力体構成、体育と栄養の連係授業活動、環境改善と空間革新」も共に提言した。「以前、運動場にあったジャングルジムが安全事故のため消えている。危険だからといってなくすのではなく、どのようにもっと安全に変えるか悩む時だ。運動場が小さくなっている。運動場は大きくならなければならない」と力を込めて話した。

^{ボンダム}鳳潭高校のイ・ジェミョン教師は「未来学校体育科準備方向」に対する意見を提示した。イ教師は「未来学校が変革の流れを逃すならば、第4次産業革命時代で淘汰されるだろう」とし、未来学校体育のために準備しなければならない事項として「第一、身体を健康にする体育の本質に対する認識強化、第二、スマート体育授業技術習得、第三、技術に代替できない人間的交感の強化」等、3つを提示した。イ教師は「体育教科は身体活動を通じて他の教科より人間的交感をより自由にできる。デバイスを通じて授業空間を作った時も目と目を合わせて体と体をぶつける交感、肯定的フィードバックが不足しないよう努力しなければならない」と強調した。

^{キサン}機山中学校教師のハン・ジョンミン教師は「スマートデバイスを活用したスマート体育授業の具現」を主題に現場で直接適用してみたIoT(モノのインターネット)スマート体育授業の例を具体的に提示した。IoT縄跳び、VR生存水泳、tスマートカウンター機、無線心拍計などスマートデバイスを活用して学生たちの自発的運動動機を付与し蓄積されたビッグデータを通じてパーソナライズされたオーダーメイド型フィードバックを提示した事例を紹介した。腹筋運動、往復長距離走など記録をスマート機器で測定すれば、Bluetoothとアプリを通じてホームページと教師のコンピュータに記録が自動入力され、エクセルに自動ダウンロードされる方式。ハン教師は「これを通じて生徒たちの自発的な運動動機を誘発することができ、蓄積されたデータは健康指標として活用可能だ」とし「今後デバイスの機能改善、量的側面だけでなく質的側面の事例適用、体育授業に適用可能なさらに多様なデバイス開発などが必要だ」と主張した。最後の討論者として出たLGプロジェクト3チームのチェ・ヘイン専任は「最近、企業がヘルスケア事業を非常に重視している」と強調した。「LG電子が発売した移動型無線テレビがソウル型モジュラー教師な

ど学校体育現場で多様に活用されている。カメラセンサーが運動する人を撮影すると、酸素飽和度、心拍数などが自動測定され、履歴が管理され記録される。このような部分が教師、管理者に容易なのか、学校に適合するのかを悩んでいる」と説明した。2020年、教育部の学校空間革新事業に参加したチェ専任は、企業の観点から見た議題として「需要と供給のバランス、個人情報管理のアクセシビリティ、ビッグデータの体系的管理を通じた体育有望株育成」等、3つを挙げた。「学校の多様な変化を大企業が合わせることができるだろうか。スマート機器を通じて蓄積されるビッグデータを個人情報に対するハッキングの危険なしにうまく管理できるだろうか。数多くのビッグデータとこれを通じた総体的プロジェクトをどのように管理するか」に対する悩みだ。チェ専任は「大企業でリアルタイムに変わる学校のすべての状況が分かりにくい、明確な目標が決まればどんな企業より良い製品を作り出す力量を備えている」とし「学校と企業をつなぐ連結の輪が重要だ。協会、研究会に所属している教師たちがより多くのアイデアを与えてほしい。企業と学校体育の連結をつなぐ企業が集まって話を交わしながら進取的なスマート学校体育事業を共にすれば良いだろう」と話した。

未来の学校体育、学校体育の未来に対する京畿地域の現職体育教師たちの現場専門性、体育教育に対する数え切れない悩みと研究に基づいた洞察力をそのまま盛り込んだ同日の討論は、水準と熱気ほど反応も熱かった。勉強する現場教師たちの自発的、持続的な研究会とこれを通じた経験および知識、方向性共有、フォーラムを通じた積極的な政策提言は他の市道教育庁も模範にするに値する。

京畿道教育庁のソン・ジョンヒョン学生健康課長は「2022年京畿学生スポーツセンター第1回フォーラムを無事に終えた。COVID-19により現場と断絶され、孤立と無気力感に苦しんでいた体育先生たちの率直な話と未来を準備する悩みを分かち合う場だった」と評価した後「今回のフォーラムを契機に8月の力量強化研修をよく準備し12月の第2回フォーラムの時はさらに幅広い意見を共有する計画だ。学界、企業、保護者、学生など多様な見解を統合したフォーラムを準備する」という意志を伝えた。

出典：<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202206130100080350005110&servicedate=20220612>

05 聯合ニュース 2022.06.08

少年体育会の期間中、女子職員を強制わいせつした済州島体育会幹部立件



全国少年体育大会期間、女子職員を強制的に醜行した済州道体育会幹部が警察の調査を受けている。

済州警察庁は8日、女性職員を強制わいせつした疑いで済州道体育会幹部60代A氏を立件し、調査していると明らかにした。

A氏は先月29日午後11時頃、大邱市内の路上で自分の頬を女性職員Bさんの頬にこすり、強制的にキスするなど不適切な身体接触をした疑惑を受けている。

当時、済州道体育会の役職員たちは28日から31日まで開かれた第51回全国少年体育大会に参加するため、大邱に滞在していた。

A氏は事件当日、宿舎近くで体育会の会食が終わった後、Bさんに「コーヒーを一杯飲もう」と呼び出して、このような犯行を犯したことが確認された。

被害者は1日、警察に告訴状を出した。

A氏は警察の調査で「酒を飲んで当時の状況を覚えていない」と供述した。

警察はA氏を検察に起訴意見で送検する予定だ。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220608139800056?input=1195m>

06 世界日報 2022.06.07

「黒い霧事件」記憶、日本体育界…「スポーツ賭博導入はダメ」



「時期尚早だ」

日本プロ野球読売ジャイアンツの監督を務めた堀内恒夫氏がスポーツ賭博を許容しようとする政府方針を聞いて言った言葉だ。日本政府はスポーツ賭博がスポーツ産業活性化につながると期待しているが、関連専門家やスポーツ界では八百長、賭博中毒の危険などを心配している。

読売新聞は「経済産業省が景気の結果や内容に対するバッティング禁止を解除する方案を用意し意見収斂に乗り出す予定」とし「反対論が侮れず激しい反発が予想される」と7日報道した。

新聞によると、経済産業省は多様なスポーツ関連データを収集する業者が野球やサッカー、バスケットボールなど種目別リーグやクラブから受け取った試合情報、映像を購入した後、賭博業者に提供する案を用意した。参加者はこれを土台に試合を見ながら賭博ができるようになる。新聞は「経済産業省はスポーツ庁と共に来月に『スポーツ未来開拓委員会』を5年ぶりに開き、スポーツ賭博を許容する議論を本格化する方針」とし「刑法は賭博を禁止しているが、競馬や競輪、サッカーなどの宝くじは特別法により許容されている」と伝えた。続いて「委員会は2015年基準で5兆5000億円規模の日本スポーツ市場規模を2025年までに15兆円に引き上げるという目標を立てた」と伝えた。これを通じて確保した財源を地域スポーツ振興や公立中学校での部活動運営費に充てるという構想も持っている。

しかし、スポーツ賭博を許容する場合、八百長や賭博中毒につながりかねないという点で、反対の声が強い。

日本で最も高い人気を博している野球界では「ファンの抵抗感が大きいだろう」という反応が出た。新聞によると、日本球界は八百長、賭博の禁止はもちろん、日本スポーツ振興センターが運営するスポーツ宝くじとも距離を置いている。2015年に政界スポーツ議員連盟が野球を宝くじ事業の対象に含ませようとしたことがあるが、野球界は反対した。特に「黒い霧事件」（日本のプロ野球関係者が金を受け取って八百長に関与したとされる一連の疑惑、事件で1960年代末～1970年代初めに相次いで発覚した）を忘れなかったファンの間で抵抗感が大きいという指摘が提起された。

サッカー界の場合、成長戦略の一つとしてスポーツ賭博導入可否に対する議論があったが、法的問題、中毒性などの問題で社会的理解を得にくいという判断により導入が難しいという結論を下した。また別の人気スポーツである相撲協会の関係者は「賭博でなくても（スポーツ振興のための財源を用意できる）方法はいろいろある」と話した。

スポーツ賭博を通じて確保したお金を公立学校の部活動運営費に使うという構想に対する批判も強い。名古屋造形大学の橋本基宏教授は「子供たちの部活動を理由にスポーツ賭博を合法化するというのは話にな

らない」とし「学生たちの教育や健全な成長のために必要な運動ならば政府や地方自治体が公的財源で充たなければならないのではないか」と指摘した。

出典：<http://www.segye.com/newsView/20220607513718?OutUrl=naver>

07 週刊スポーツニュース

釜山、来年から中学校新入生に体育服無償支援

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220613024900051?input=1195m>

済州市、台風シーズンを控え、公共体育施設の一斉点検

https://newsis.com/view/?id=NISX20220613_0001905147&cID=10813&pID=10800

猛暑・PM2.5でもVRで体育の時間を楽しみましょう。

<https://www.newsl.kr/articles/?4709581>

KPC、障害者生活体育指導者の力量強化中、

<http://www.sportsseoul.com/news/read/1132426?ref=naver>

浦項市体育会サイクル実業チーム、全国サイクル大会を席卷

<http://www.hidomin.com/news/articleView.html?idxno=486244>

済州市、夏場の公共体育施設の一斉点検

<http://news.bbsi.co.kr/news/articleView.html?idxno=3070849>

[特集]忠南障害者体育大会 D-100 の日「断絶した3年の時間をつなぐ」

<http://www.dtnews24.com/news/articleView.html?idxno=726470>

龍仁市、京畿道総合体育大会ボランティア募集

https://newsis.com/view/?id=NISX20220609_0001901358&cID=14001&pID=14000

蔚山、週末各地で体育大会で「活力充電」

<http://www.ujeil.com/news/articleView.html?idxno=305689>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jrlfep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>